

経営戦略

坂野 友昭 教授

1. 担当教員の専門分野（研究領域）・現在の研究テーマ

サービス業、中でも特にクレジットビジネス会社（銀行、クレジットカード会社、信販会社、消費者金融会社など）の戦略を中心に研究を進めている。内容的には、国内外のクレジットビジネス会社がいかにかしたら超過収益をあげられるかを、商品・サービスのポジショニング、コア・コンピタンス、コーポレート・ガバナンスなど、さまざまな視点から分析している。最近は特に発展途上国でのクレジットビジネスの発展に関心をもっている。方法的には、財務データや質問票に基づいた量的分析から、ケーススタディなどの質的分析も含む実証研究が中心である。

2. 指導方針

経営戦略は、現在大きな転換期にある。グローバル化、人口高齢化、ハイパーコンペティション、消費者嗜好の変化、IT技術の革命的進歩によって、従来の戦略ではもはや対処できなくなってきている。当研究指導では、こうした問題意識を前提に、新しい経営戦略のあり方を考える。研究アプローチとしては、内外の文献をサーベイするとともに、世界各国の特徴ある企業の戦略革新についてのケーススタディを行う。

また、実証研究を行うために必要なリサーチメソッドや分析技法についての訓練も行う。特定のテーマを内容的に深く掘り下げるというのではなくて、どんなテーマであれ、適切な方法で実証研究ができるスキルの習得に力を入れる。したがって、志願者の研究テーマがクレジットビジネスである必要はない。

3. 学生に対する要望・その他

海外の文献を多く読むので、ある程度の英語読解力が必要である。海外の研究者との共同研究も行うので、ある程度英語でコミュニケーションできる能力（特に e メールで）が必要となる。また、実証分析を行うための統計学の基礎や SPSS のような統計ソフトを使いこなす能力も必要である。さらに、最近の経営戦略論と関連の深いファイナンスの最低限の知識も必要である。

こうした能力をすでに身につけている必要はないが、その習得に意欲をもつ学生が望ましい。